

磐城時報

編輯者 石城郡平野町十四番地 印刷者 石城郡平野町十四番地 電話 一四七

縣の補助金を當て込む 町村の不正土木工事 平檢事務局で嚴重搜索

双葉郡地方における二、三土木組合並に個人に對し一齊に檢舉不正縣補助工事に對する平檢事務局の手を進める見込みにて取調...

平署でも手古摺つた 田久村議の取調べ 高橋警部補重荷を下す

石城郡上、下小川組合村の巨款當局並に村民の目を胡亂化して事業にまつはる不正事件の張本たる田久村議の取調べ...

豫算内容

四倉町の 豫算内容 一、販賣事業營業に關する件 二、販賣事業營業及び組織變更...

自力更生策として 副業獎勵を計劃 上遠野村で協議會

上遠野實行組合では事業の改善を計るため現在三十組合あるの全部解散して新たに二十六組合を再組織し農業合理化、副業の獎勵に努める事となり...

元山形縣巡査 飲食店で亂暴 副會長 伊藤氏に決定

石城郡内郷村大字綴地壽一郎(二八)は一日午後三時半頃飲食店に於て、同村の飲食店を廻り亂暴を働いてゐる處に駐在巡査隊に...

病父を持つ孝行姉妹に 新川町區長が同情 當局に救濟方願出づ

平野町新川町西村純(七〇)長女(二八)次女(二〇)の姉妹は父純が數年前かに神經痛を患ひ體の自由が利かぬので姉妹は...

八千圓寄附 四倉漁港に

磐城セメント四倉工場では目下修築工事中の四倉漁港工費中に八千圓を寄附する事になった。

産業紀念日 宣傳計劃

三月六日の産業組合紀念日に四産業青年團では三日午後一時からは合同して自動車宣傳隊を組織し...

關東北 カルタ大會

平カルタ會主催、いばらき新聞社後援第二回關東北カルタ大會は五日正午から平野町藤田女學校に開催する。會費三十錢である。

繩ない、競技會

村補習學校主催の繩ない競技會は一日午後一時から農事試験分場で開催したが参加者は同村青年團、小學校高等科男女生徒合せて百餘名、成績左の如くである。

吉田政久翁逝去

平野町島崎若銀行平支店長吉田政久翁は病氣を患ひ、一日午後五時死去した。葬儀は四日午後一時自宇出棺長...

小名濱商港 寄附問題

小名濱商港擴充計劃は炭礦側の寄附は十五萬圓がいよ／＼有望となつたので之に地元小名濱町の寄附五萬圓を加へ地元關係者...

ハガキ集

町民に敬す (投書歡迎) 二階建校舍に接續して建る事誠當を得てゐる問題、何故に反對するか。反對せんが爲め理由たる老木五本あり、風致上良きものであり永久に保存せねばならん。又五十間もの校舍は天災地變に處して危険此の上なきものである。故に別個に取り難して建て老木は保全し中心に横たわる最舊校舍を是非移轉させんとす。

橋町性源寺で佛式により執行する。ピアノ購入 四倉小學校にピアノを購入備付けの事になった。

世界の名湯國立療養所の所在地

別府の天然家庭温泉

命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變りありません  
 一、萬病に靈驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で湯治の出来る重寶な家庭温泉  
 一、從來の浴劑を斷然優越せる新發見劑  
 一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化する理想的浴劑

疲勞回復 健康増進の鍵  
 病魔征服 傳染病豫防の武器

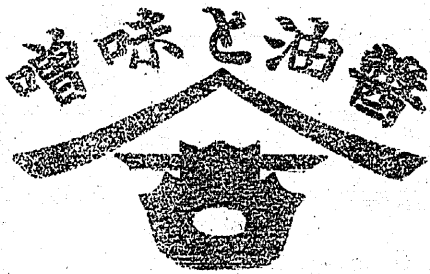
眞の温泉療法は―若葉の三四月から―夏に於て最有効な時期です、是非御試用願ひます。

六回分 (二日使用 十二日分) 五十錢  
 十四回分 (同 廿八日分) 一圓  
 三十四回分 (同 二月八日分) 二圓

平町四丁目

命の洗濯代理店 小野屋藥舖

電話一四四番



山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部専用)一〇番  
 (一般用)二七番  
 振替東京一九七五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

皇漢藥合成品

喘息五靈湯

五日分 一圓

喘息、氣管喘息、神經喘息、痰咳、氣管支カタル等の慢性頑固性に卓効を有す。他藥にて全治困難の人々に一度の御試用を勵む。

山野邊藥局

廣告

新任外科部長

外科學士來任

每日診療ニ從事ス

内臟外科 醫學士 内木宗八  
 整形外科 泌尿器科  
 昭和七年七月

平町新川町十九番地

木村病院

電話一六四番

耳鼻咽喉科專門

氣管食道科專門

病室完備：自炊の便あり

平町南町 大和田醫院  
 電話一七〇番

外科專門 X光線科  
 病室完備 平町南町  
 上田外科醫院  
 電話一二九番

貨切御用命

三井自動車部へ

電話六八五番

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行



木村病院 電話一六四番

上田外科醫院 電話一二九番

藤沼醫院 電話五〇七番

壽夜 腸胃 專門  
 皮膚病 婦人病 淋病 十二指 腸胃病 胃性病  
 院醫科 院醫科  
 【番七〇一話電】町南町平

父政久儀永々病氣之處養生不相叶  
 三月一日午后五時遂ニ逝去致候間  
 此段御通知申上候  
 追テ來ル四日午後一時自宅出棺長橋町性源寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀可仕候  
 昭和八年三月二日

男 吉田 德政  
 男 清水 廣政  
 親戚總代 清水 爲政

店員募集

年歲 十四五歳の店員御希望の者  
 學歷 小學校卒業程度  
 多數入用に付御來談被下度し  
 平町鍛冶町

吉田屋吳服店

電話一二二番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

外科專門 花柳病科

平町六丁目橋際

木村外科醫院

電話三〇九番